

学長告辞

2021年度学位授与式にあたり、青森市長 小野寺晃彦様をはじめ、各位のご臨席を仰ぎ、式を挙げていただけますことは、私ども青森公立大学教職員一同にとりまして、この上ない喜びでございます。

お忙しいなか、ご出席いただきました、御来賓の皆様、また遠隔でご視聴いただく保護者の皆様に、厚く御礼申し上げます。

さて、卒業生、修了生の皆さん、ご卒業、修了おめでとうでございます。

また、保護者の皆様、関係者の皆様には心よりお喜び申し上げます。

本学は、地域の皆様の熱い思いによって、1993年に開学致しました。

開学以来、1997年には大学院修士課程の設立、2006年には、それまでの1学部1学科体制の見直しによる1学部3学科体制への改組、2009年には教職課程の設置など、常に地域の皆様、学生諸君の期待に沿うべく、改革が進められて参りました。現在では、経営経済分野では、北東北、道南地域唯一、博士号を授与できる大学となっています。

本学の教育理念は、たくさんの方のことを教えすぎず、重要なことは徹底的に教えるということであり、常に「なぜ」という問いを学習者自身に課すというものです。

今まさに『なぜ』ということ、問うべき事象が世界で起こっています。新型のコロナウイルスの蔓延しかり、そして欧州の武力衝突など。

皆さんは『学生』という、貴重な時間を過ごされてきました。この時間は今後の皆さんにとって、必ず有意なものとなると信じています。経済的にはもちろん、社会的にも多くの方々に支えられて、生み出された時間であることを深く自覚して、着実に歩いていってくださることを願ってやみません。

私たちは、いつ、何が起きるかを正確には予想することはできません。

だからこそ、私たちには、たとえ、どんなことが起こっても冷静に対処できる『理性』、『知性』、『行動力』が必要です。

また、現代社会では、皆で積極的に物事を考え、考えたことを交換し、よりよき未来をもたらすことのできるような、決定をしていく必要があります。

自由であるためには、自ら考え、人と議論し、意見が対立するときには、それを乗り越えられるような、新たな考えを皆で創りだしていくべきです。

皆様の未来が明るく、幸せに満たされたものになることを祈念して2021年度学位授与式における学長告辞と致します。

令和4年3月12日

青森公立大学 学長 香取 薫